

心に残ったことを届けよう — 「思い出マイブック」をつくろう —

1年国語科 2月 21Q〈7時間〉
附属新潟小学校 教諭 桑原 浩二

1 本単元で目指す姿

書くために必要な事柄を収集・選択し、経験したことを明確に書き表す子ども

具体的には、「言葉と相手や目的とを関係付けて考えること」という見方・考え方を働かせ、「構成表」を用いてツール活用能力を発揮し、「始め—中—終わり」の構成で、前後の語句や文のつながりが明確な文章を書き表す姿。

2 本単元で育成する資質・能力（評価規準）

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
国語科	○順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く技能	○必要な事柄を収集する力 ○必要な事柄を多面的・多角的に精査し構造化する力	○経験したことや想像したこと、自分の思いを進んで書こうとする態度

3 資質・能力の関連

[第1学年] 国語科
— おもい出してかこう —



[第1学年] 国語科
— 「おもいでブック」をつくろう —

4 単元の計画

	【学習活動】☆資質・能力	【働き掛け】	Q
一次	<p>おうちの人に楽しかった餅つき大会の文章を書こう</p> <p>○ 書いて伝えたい意欲を高め、問いをもつ。 ・ぼくは、お餅をついたことを書きたいです。 ・おうちの人に書いて伝えたいな。 ・どのように文章を書いていけばいいのだろう。</p> <p>○ おうちの人に餅つき大会で楽しかったことを伝えたいな。でも、どのように書けばいいのかな。 ☆国語科③</p>	<p>◆ 経験と結び付く題材を提示し、どのようなことを書くかを問う。【働き掛け1】</p> <p>※ 題材「餅つき大会」を提示する。 ※ どのようなことを書くか、ペアで話し合わせる。 ※ 挙手を求め、どのようなことを書くかを全体の前で発表させる。 ※ どのように書けばよいかといったつぶやきがあったときには、取り上げて全体で共有させる。</p>	3Q 1時間
二次	<p>○ 文章化する見通しをもつ。 ・はじめに、書くことを集めればいんだよ。 ・次に、集めた中から書くことを選べばよさそう。 ・そして、選んだ書くことを順序よく構成表に並べていけば、文章が書けそう。 ・その後、自分で文章を読み返してみたり、友達と読み合ったりアドバイしたりすることも大切だよ。</p>	<p>◆ どのように書けばよいか方法を問う。【働き掛け2】</p> <p>※ ペアで話し合わせる。 ※ 挙手を求め、文章を書く過程（以下、「文章化過程」とする）を全体の前で発表させる。 ※ 子どもの発言を拾い、文章化過程を板書する。</p>	15Q 5時間

○ はじめに、付箋紙に餅つき大会をしたことを書きます。次に付箋紙を選びます。そして、選んだ付箋紙を構成表に順序を考えて貼っていくと文章が書けそうです。

★協働性

- 餅つき大会の感想を表出し、したことを付箋紙に記述する。
- ・お餅をついたこと。
 - ・お餅にきな粉を付けたこと。
 - ・お餅を食べたこと

○ ぼくは、「お餅をついたこと」「お餅にきな粉を付けたこと」「お餅を食べたこと」など、餅つき大会をしたことを思い出して、たくさんの付箋紙に書き出すことができたよ。

★国語科②

- 選択した付箋紙を構成表へ時系列に貼り、気持ちや様子を記述する。
- ・ぼくは、「お餅をついたこと」「お餅にきな粉を付けたこと」「お餅を食べたこと」の付箋紙を選びました。この付箋紙を構成表に順序を考えて貼るよ。
 - ・「お餅を食べたこと」の付箋紙の下には、「お餅を箸で持ち上げたら長くのびておもしろかった」「ほっぺたが落ちるほどおいしかった」と書くよ。
- 文章を記述する。 ★国語科①
- 班で文章を読み合い、推敲する。
- ・小さい「っ」が抜けているよ。
 - ・会話を入れると楽しさが伝わるよ。
- 最終的な文章を記述する。 ★国語科①

○ 私は、「お餅をついたこと」の付箋紙を選びました。初めてお餅を試みたけれど、思っていたよりも上手につくことができてうれしかったです。

★国語科②
★ツール活用能力

三
次

- 文章を読み合い、様々な資質・能力を発揮したことで課題を解決できたことを自覚する。
- ・穰さんの文章は、順序よく書けているよ。
 - ・雄大さんの文章は、気持ちや様子が詳しく書けているね。

○ おうちの人に楽しかった餅つき大会のことが伝わる文章が書けました。書くことを集めてから選び、構成表を使って書くことを順序よく並べて書いたことがよかったです。

★国語科②
★ツール活用能力

◆ 餅つき大会の感想を交流させ、したことを付箋紙に記述させる。

【働き掛け3】

- ※ 班で餅つき大会の感想を話し合わせ、したことや感じたことを想起させる。
- ※ 1人10枚程度の付箋紙を配付する。
- ※ 付箋紙がたくさんあって、どのように使えばよいかといった反応があったときには、取り上げて全体で共有させる。

◆ 必要な付箋紙を選択させ、したことに
対する気持ちや様子を問う。

【働き掛け4】

- ※ 構成表を配付する。
- ※ 構成表の「中」の部分に選択させた付箋紙を貼らせる。
- ※ 貼り付けた付箋紙の下に気持ちや様子を記述させる。
- ※ 挙手を求め、選択した付箋紙と気持ちや様子とを全体の前で発表させる。
- ※ 子どもの発言を板書で分類整理し、必要に応じて気持ちや様子を構成表に赤鉛筆で書き足させる。
- ※ 構成表に付箋紙を貼り過ぎていて、すべてを使えないという発言及びつぶやきがあったときには、取り上げて全体で共有させる。
- ※ 文章を記述させる。
- ※ 原稿用紙を配付する。
- ※ 班で推敲させる場を設定する。
- ※ 推敲したい箇所には、赤鉛筆で加除修正させる。
- ※ 最終的な文章を記述させる。
- ※ 原稿用紙を配付する。

◆ 交流会を設定し、伝えたいことを明確に書き表すことができた理由を問う。

【働き掛け5】

- ※ 交流会は、友達の文章を自由に読み合える形式にする。
- ※ 互いのよいところを見付け、共感的な一言を伝え合うように指示をする。
- ※ 振り返りシートに本單元における学び（感想と理由）を記入させる。
- ※ 振り返りは、ペアで交流させた後、全体で共有させる。

3
Q
1
時
間